

第6章 文化財の保存・活用に関する措置

1. 文化財の保存・活用に関する措置

第4章で文化財の保存・活用に関する課題、基本目標を実現するための基本方針をまとめた。その基本方針、方策に基づき、取り組むべき措置は下記のとおりである。これらの措置は、文化財課をはじめとし、文化財所有者や地域住民、学校教育課や生涯学習文化課、観光、まちづくり、農業振興に関する部局などの庁内関係部局がそれぞれ主体となり、地域総がかりで事業に取り組む体制を整え、実施する。なお、国の財源（文化財補助金・地方創成推進交付金等）については、調整中のものを含む。

■：地域計画の実施期間（2020～2025）の間に行う事業

◎：実施期間の間で重点的に行う事業

【備考】 関連文化財群：①独自の地域性を持つ古墳文化と東国隋一の国家仏教の地「下野」

②中世武士の戦いが繰り広げられた土地「狭間の地 下野」

③時代を超えたヒトとモノの流れ「東西南北を結ぶ一大交流拠点」

④古代から受け継がれる祈りの歴史

文化財保存活用区域：(1) 国分寺保存活用区域

(2) 薬師寺保存活用区域

(3) 石橋・小金井保存活用区域

(4) 三王山保存活用区域

基本方針	方策	事業名		備考	
		番号	名称	関連文化財群	保存活用区域
①文化財の保存と継承	文化財を一元管理するためのデータベースの作成	1	文化財データベース制作事業	-	-
		2	古写真収集事業	-	-
		3	古文書目録作成、更新	-	-
	貴重な文化財の指定・保存	1	しもつけ古墳群の保護に向けての詳細調査	①	-
		2	三王山南塚1・2号墳の保護に向けての詳細調査	①	(4)
		3	中世城館群の保護に向けての詳細調査	②	(2) (3)
		4	日光街道に関連する文化財の保護に向けての詳細調査	③	(3)
		5	重要な文化財の保護に向けての詳細調査	-	-
		◎ 6	干瓢生産道具保存活用事業	③	-
		7	歴史的景観の保全と創出	③	-
		8	無形民俗文化財記録映像制作	④	-
		9	重要文化財甲塚古墳出土遺物保存修理事業	①	(1)
		10	民俗芸能・伝統行事継承事業	④	-
	防災・防犯体制の整備	1	文化財所有者との防災・防犯訓練及び講習会の開催	-	-
		2	資料館職員に対する防災意識の向上	-	(1) (2)
		3	文化財パトロール	-	-

方針	方策	番号	名称	関連文化財群	保存活用区域
②多様で豊富な文化財の顕在化	継続的な調査 研究の推進	1	市内重要遺跡の発掘調査	① ②	(1) (2) (3) (4)
		2	石造物の調査	②③④	-
		3	歴史的建造物調査	-	(1) (2) (3)
		4	開発に伴う埋蔵文化財の調査	①②③④	-
	文化財の価値 や魅力の発信 機能の強化	1	歴史文化発信事業	-	-
		2	歴史学習事業	-	-
		3	ふるさと学習の推進	-	-
		4	インターネットによる文化財の情報発信の強化	-	-
		5	文化財シンポジウムの開催	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		6	市内重要遺跡の調査成果の公表	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		7	資料館における企画展の開催	-	(1) (2)
	8	文化財ウォーキングイベントの開催	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)	
	9	江戸時代以降の干瓢料理のレシピ集成と公開	③	-	
	10	文化財観見ガイド養成事業	-	-	
	11	伝統文化体験事業	④	-	
③文化財の総合的な活用	文化財の多様な活用の推進	◎ 1	関連文化財群ツーリズム事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		◎ 2	天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	① ④	(1)
		3	下野薬師寺跡を活用したイベントの実施	① ④	(2)
		4	東の飛鳥ブランドの制定	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		5	歴史文化遺産と物産展や農政・観光等とのコラボレーション事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
	文化財活用のための 拠点づくり	1	商業施設との連携	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		◎ 2	しもつけ風土記の丘資料館整備事業	①	(1)
		3	下野国分尼寺跡保存整備事業	①	(1)
		◎ 4	下野薬師寺跡保存整備事業	①	(2)
		5	天平の丘公園再整備事業	①	(1)
		6	史跡下野国分寺跡保存整備事業	①	(1)
		7	市内文化財の解説板の設置	① ② ③ ④	(3) (4)
		8	学びの場活用事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
文化財保存活用のための 相互連携	9	情報案内・説明板設置事業	-	(1) (2)	
	10	薬師寺周辺駐車場等整備事業	① ② ③ ④	(2)	
	11	下野薬師寺いにしへの道整備事業	① ② ③ ④	(2)	
	12	景観計画の策定	-	-	
	13	近隣市町との文化財ネットワークの推進	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)	

(1) 文化財の保存と継承

方策	事業名	内容
文化財を一元管理するためのデータベースの作成	1 文化財データベース制作事業	下野市文化財バーチャルミュージアムに、町史編纂時収集資料や、古代関連文化財、出土遺物、中世関連文化財、近世、民俗文化財をアーカイブ化し、文化財データベースを更新する。
	2 古写真収集事業	市内に残る江戸末期から昭和にかけての古写真を収集し、下野市文化財バーチャルミュージアムにある今昔写真ギャラリーで公開する。
貴重な文化財の指定・保存	◎6 干瓢生産道具保存活用事業	干瓢の生産道具の調査を行い国の登録有形民俗文化財への登録を目指すとともに、干瓢剥き等の体験事業を実施する。
	7 歴史的景観の保全と創出	市の伝統産業である干瓢を生産する農家に付随して所在し、本市の独特な景観を校正している平地林について、ボランティアの協力を得ながら市内に所在する平地林の悉皆調査を実施し、データベースを作成する。
	8 無形民俗文化財記録映像制作	歴史的風致維持向上計画において、本市の歴史的風致の一つである八坂祭に関する映像記録を制作する。
	9 重要文化財甲塚古墳出土遺物保存修理事業	甲塚古墳出土遺物の保存・活用を図るため、形象埴輪の保存修理を実施する。
	10 民俗芸能・伝統行事継承事業	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等の基礎調査を実施することにより行事等の把握を行う。また、保存・継承のため、専門的な知見に基づき、記録や道具、練習場所等の整備、後継者育成、情報発信等の支援を行う。
防災・防犯体制の整備	1 文化財所有者との防災・防犯訓練及び講習会の開催	文化財の火災や盗難による消失を防ぐために、市、石橋地区消防組合、下野警察署、文化財所有者、地域住民らによる防災訓練、防犯対策に関する講習会を開催する。
	2 資料館職員に対する防災・防犯意識の向上	しもつけ風土記の丘資料館及び下野薬師寺歴史館における防災・防犯マニュアルを作成し、資料館職員に対して講習会を実施する。
	3 文化財パトロール	現在県の事業で実施している文化財パトロールを実施するとともに、事業で対象外となっている文化財のパトロールを実施する市独自の事業を検討する。

措置の進行方法

事業名		進捗	関連計画	取組主体	財源	R02 2020	R03 2021	R04 2022	R05 2023	R06 2024	R07~
1	文化財データベース制作事業	未		市	市費						
2	古写真収集事業	○		市	市費						
◎6	干瓢生産道具保存活用事業	○ H30(2018) 着手	歴まち15	市	市費 県費						~ R10(2028)
7	歴史的景観の保全と創出	○		市 その他	市費 県費						継続
8	無形民俗文化財記録映像制作	○	歴まち11	市	市費						
9	重要文化財甲塚古墳出土遺物保存修理事業	○		市	市費 国宝重要文化財等保存整備費補助金						
10	民俗芸能・伝統行事継承事業	○ R1(2019) 着手	歴まち11	市 その他	市費						~ R10(2028)
1	文化財所有者との防災・防犯訓練及び講習会の開催	未		市	市費						
2	資料館職員に対する防災意識の向上	○		市	市費						
3	文化財パトロール	○		県 市	市費 県費						継続

※進捗 ○：既に着手中の事業、 未：未着手の事業

(2) 多様で豊富な文化財の顕在化

方策	事業名	内容
継続的な調査研究の推進	1 市内重要遺跡の発掘調査	市内の重要な遺跡を解明するための発掘調査を実施する（見山城跡・落内遺跡・しもつけ古墳群・三王山南塚1・2号墳）。
	2 石造物の調査	旧町時代に調査を実施した石造物、石仏の再調査を実施する。調査成果は文化財ホームページでのアーカイブスの作成や報告書の改訂作業によって公表する。
	3 歴史的建造物調査	これまで十分に調査がされていない歴史的建造物について、総合的に把握するとともに調査を実施する。また、調査等に基づき歴史的風致形成建造物を指定し、保存・活用を図るための修理等を行う。
	4 開発に伴う埋蔵文化財の調査	民間開発や公共事業の開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施し、写真撮影や図面作成などの記録保存を実施するとともに、報告書の作成や発掘調査現地説明会を開催し、調査成果を公表する。
文化財の価値や魅力の発信機能の強化	1 歴史文化発信事業	歴史的風致維持向上計画で設定した市の歴史的風致等を紹介するパンフレットの作成を行うほか、これまでに作成した下野薬師寺跡やしもつけ古墳群、日光街道関連文化財のVR等を活用し、歴史的風致形成建造物等の復元等を行い公開し、児童・生徒や来訪者に対し市の歴史的風致の魅力の発信を行う。
	2 歴史学習事業	将来歴史的風致の担い手となる小・中学生に対する歴史等への学習支援を強化し、学校や教育委員会、資料館等が連携した歴史学習事業の展開を図る。
	9 江戸時代以降の干瓢料理のレシピ集成と公開	江戸時代以降の干瓢料理のレシピを集成し、文化財ホームページやパンフレットにて公開する。
	10 文化財観見ガイド養成事業	市内の歴史文化の説明を行うガイドの養成。史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入等を行う。
	11 伝統文化体験事業	市内の伝統芸能や民俗行事等を継承するために、地方公共団体や伝統文化等の指導者等が一体となって、地域ぐるみで将来の担い手となる小・中学生等に対し、伝統文化等を体験・習得できる機会を設ける。

措置の進行方法

事業名		進捗	関連計画	取組主体	財源	R02 2020	R03 2021	R04 2022	R05 2023	R06 2024	R07~
1	市内重要遺跡の発掘調査	○		市	市費 国宝重要文化財等保存整備費補助金	児山城	落内	落内	古墳	古墳	古墳
2	石造物の調査	○		市	市費						
3	歴史的建造物調査	○ H30(2018) 着手	歴まち5	市	市費						~ R10(2028)
4	開発に伴う埋蔵文化財の調査	○		市	市費						~ R10(2028)
1	歴史文化発信事業	○ R1(2019) 着手	歴まち9	市	市費						~ R10(2028)
2	歴史学習事業	○ R1(2019) 着手	歴まち13	市	市費						~ R10(2028)
9	江戸時代以降の干瓢料理のレシピ集成と公開	○ R1(2019) 着手	歴まち14	市 その他	市費						~ R10(2028)
10	文化財観覧ガイド養成事業	○ H29(2017) 着手	歴まち10	市	市費						~ R10(2028)
11	伝統文化体験事業	○ R1(2019) 着手	歴まち12	市 その他	市費						~ R10(2028)

※進捗 ○：既に着手中の事業、 未：未着手の事業

(3) 文化財の総合的な活用

方策	事業名	内容
文化財の多様な活用の推進	◎1 関連文化財群ツアーリズム事業	地域計画で設定した関連文化財群を巡るまち歩きツアーを提案するために、現在の文化財マップを刷新し、地域計画で設定した関連文化財群の内容と、まち歩きのモデルコースを記載し、内容を更新する。また、市内に所在する古民家等を活用した宿泊体験を兼ねた文化財巡りツアーを市民まちづくり団体と企画する。
	◎2 天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	天平の丘公園については春の花まつり期間、国分寺跡については歴史愛好家の来訪がそれぞれ集客のメインになっている。天平の丘公園の再整備により年間を通して来園者を見込むが、さらなる来園者の増加、併せて文化財の周知及び積極的な活用を図るため、天平の丘公園に隣接した甲塚古墳で出土した機織形埴輪のレプリカや織機を製作するとともに、古民家カフェ「夜明け前」で、古代に当地で行われていた機織りの体験事業を実施する。
文化財活用のための拠点づくり	◎2 しもつけ風土記の丘資料館整備事業	しもつけ風土記の丘資料館を下野市の文化財活用、情報発信等の拠点施設として活用するための整備事業を実施する。
	3 下野国分尼寺跡保存整備事業	第2期整備事業として、伽藍地北側及び推定西門跡周辺の整備事業を実施する。西門跡の表示とともに説明看板等の設置を行う。
	◎4 下野薬師寺跡保存整備事業	未整備の公有地の整備及び既整備範囲の再整備（史跡地修繕・下野薬師寺歴史館の展示改修）を実施するため、第3期保存整備計画の策定及び整備を実施。また、第4期整備に向けた公有化の検討を実施する。
	5 天平の丘公園再整備事業	下野国分寺跡・尼寺跡、天平の丘公園一帯の総合的な整備事業。天平の丘公園について、平地林の保全及び公園施設のユニバーサルデザインなどを考慮した再整備を行う。また、公園内を横断する市道2-22号線についても、公園施設と合わせて再整備を行う。
	8 学びの場活用事業	国分寺西小学校（平成31年4月1日に国分寺小学校に再編）校舎の一部を利用して、干瓢生産道具を主とした農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の歴史資料を収蔵・保管・展示する施設として整備し、これらの資料を使用して、歴史文化を学び、体験する施設として活用する。
	9 情報案内・説明板設置事業	市内の説明板や案内板については、旧町時代に設置したものが多く、設置した部署により表示内容やデザイン等の違いがあり統一感に欠けるため、今後、策定予定の景観計画に基づき統一した表示内容やデザイン、多言語化への対応等を検討し、設置する。
文化財保存活用のための相互連携	13 近隣市町との文化財ネットワークの推進	宇都宮市、栃木市、壬生町、上三川町等としもつけ古墳群や中世城館群、古代から近世の街道に関する文化財群の活用を図るため、広域連携による史跡巡りウォーキングやサイクリングイベントなどを開催する。

措置の進行方法

事業名	進捗	関連計画	取組 主体	財源	R02	R03	R04	R05	R06	R07～
					2020	2021	2022	2023	2024	
◎1 関連文化財群 ツーリズム事 業	未		市 その他	地方創生推進交 付金						～ R10(2028)
◎2 天平の丘公 園・下野国分 寺跡を活用し たイベント事 業	○	歴まち8	市 その他	市費 国費						～ R07(2025)
◎2 しもつけ風土 記の丘資料館 整備事業	○ H28(2016) 着手	歴まち6	市	国宝重要文化財 等保存整備費補 助金						
3 下野国分尼寺 跡保存整備事 業	○ H24(2012) 着手	歴まち3	市	国宝重要文化財 等保存整備費補 助金						
◎4 下野薬師寺跡 保存整備事業	○ R1(2019) 着手	歴まち1	市	国宝重要文化財 等保存整備費補 助金						～ R10(2028)
5 天平の丘公園 再整備事業	○ R1(2019) 着手	歴まち16	市(商 工観光 課)	市費 国費						～ R08(2026)
8 学びの場活用 事業	未	歴まち7	市	市費						～ R10(2028)
9 情報案内・説 明板設置事業	未	歴まち20	市	市費						～ R10(2028)
13 近隣市町との 文化財ネット ワークの推進	○		市 近隣自 治体	わがまち未来創 造事業						継続

※進捗 ○：既に着手中の事業、 未：未着手の事業

2. 関連文化財群の保存・活用に関する措置

関連文化財群の保存・活用に関する措置は、個々に設定した関連文化財群ごとに実施するのではなく、複数の関連文化財群、あるいは全ての関連文化財群で実施することでより本市の歴史文化の魅力発信が可能となり、市民の郷土愛の醸成や全国での認知度の向上を図ることができる。

本市の文化財の保存・活用の基本目標を推進するために、市内の文化財を周知するためのグッズ等の作成や関連文化財群に関するシンポジウムの開催、ウォーキングイベント等による文化財巡りとそれに伴う解説板の設置、道の駅をはじめとする商業施設や物産展と連携した企画展等の開催、しもつけ古墳群をはじめとする近隣市町とのネットワークによる文化財の活用については、本市の魅力をより発信できるよう、全ての関連文化財群を通して取り組みを進める。なお、それぞれの関連文化財群に関連する措置は下記のとおり実施する。

(1) 独自の地域性を持つ古墳文化と東国隋一の国家仏教の地「下野」

下野市の歴史の独自性を示す古墳や寺院等の遺跡に関連する文化財群である。

国指定史跡の下野薬師寺跡、下野国分寺跡、下野国分尼寺跡は史跡の保存・活用を図る保存整備事業を進めるとともに、史跡に隣接する公園を含め、年間を通して多くの人々が利用できるような適切な整備・管理を行い、史跡整備により植栽した植物や発掘調査等によって明らかになった、古代に行われていた法会等をイメージしたイベント等を開催し、活用を図る。

三王山南塚1・2号墳をはじめとする、下野市の歴史の重層性を示す重要な古墳群や下野薬師寺跡に隣接する落内遺跡は、保護に向けての詳細調査を実施する。このほか、機織形埴輪をはじめとする、甲塚古墳出土遺物が国の重要文化財になったことを受けて、出土品のさらなる保存・活用を図るため、形象埴輪の保存修理としもつけ風土記の丘資料館の展示施設リニューアル工事を行う。

民間開発や公共事業に伴う埋蔵文化財の照会及び発掘調査は通年実施されていることから、開発等に関わる埋蔵文化財の取り扱いや周知を適切に行うために、発掘調査による記録保存を実施するだけでなく、報告書の作成や現地説明会等を開催し調査成果をより積極的に公表する。

方針	方策	番号	名称	関連文化財群	保存活用区域
①	貴重な文化財の指定・保存	1	しもつけ古墳群の保護に向けての詳細調査	①	-
		2	三王山南塚1・2号墳の保護に向けての詳細調査	①	(4)
		9	重要文化財甲塚古墳出土遺物保存修理事業	①	(1)
②	継続的な調査研究の推進	1	市内重要遺跡の発掘調査	① ②	(1) (2) (3) (4)
		4	開発に伴う埋蔵文化財の調査	① ② ③ ④	-
	文化財の価値や魅力発信機能の強化	5	文化財シンポジウムの開催	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		6	市内重要遺跡の調査成果の公表	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
③	文化財の多様な活用の推進	◎ 1	関連文化財群ツーリズム事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		◎ 2	天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	① ④	(1)
		3	下野薬師寺跡を活用したイベントの実施	① ④	(2)
		4	東の飛鳥ブランドの制定	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		5	歴史文化遺産と物産展や農政・観光等とのコラボレーション事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
	文化財活用のための拠点づくり	1	商業施設との連携	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		◎ 2	しもつけ風土記の丘資料館整備事業	①	(1)
		3	下野国分尼寺跡保存整備事業	①	(1)
		◎ 4	下野薬師寺跡保存整備事業	①	(2)
		5	天平の丘公園再整備事業	①	(1)
		6	史跡下野国分寺跡保存整備事業	①	(1)
		7	市内文化財の解説板の設置	① ② ③ ④	(3) (4)
		8	学びの場活用事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
文化財保存活用のための相互連携	10	薬師寺周辺駐車場等整備事業	① ② ③ ④	(2)	
	11	下野薬師寺いにしへの道整備事業	① ② ③ ④	(2)	
		13	近隣市町との文化財ネットワークの推進	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)

■：地域計画の実施期間（2021～2025）の間に行う事業、◎：実施期間の間で重点的に行う事業

(2) 中世武士の戦いが繰り広げられた土地「狭間の地 下野」

県指定の史跡である児山城をはじめとする、中世に市内各地で築かれた城館、宿や門前市の跡と考えられている下古館遺跡、追善供養のために造られた板碑や五輪塔等により構成される文化財群である。

中世城館跡は、適切な保護に向けて調査を進める。調査成果は、調査報告書やシンポジウムの開催等によって公開し、指定史跡等の特に重要な城館跡は保存整備事業を推進する。これらの事業は、近隣自治体と連携して取り組むことでより良い保存・活用が図られることから、宇都宮市、壬生町、上三川町等の近隣自治体と構築した文化財ネットワークに基づいて進めていく。

また、五輪塔や板碑等の地域特有の石造文化財は、合併前にそれぞれの町で石造物の調査を実施し報告書等を編纂しているが、編纂から年数が経過しているため、再調査を実施し、文化財ホームページ等で調査結果を公表する。

方針	方策	番号	名称	関連文化財群	保存活用区域
①	貴重な文化財の指定・保存	3	中世城館群の保護に向けての詳細調査	②	(2) (3)
		②	継続的な調査研究の推進	1	市内重要遺跡の発掘調査
2	石造物の調査			②③④	-
4	開発に伴う埋蔵文化財の調査			① ② ③ ④	-
文化財の価値や魅力発信機能の強化	5		文化財シンポジウムの開催	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
	6		市内重要遺跡の調査成果の公表	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
	8		文化財ウォーキングイベントの開催	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
③	文化財の多様な活用の推進	◎ 1	関連文化財群ツーリズム事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		4	東の飛鳥ブランドの制定	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		5	歴史文化遺産と物産展や農政・観光等とのコラボレーション事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
	文化財活用のための拠点づくり	1	商業施設との連携	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		7	市内文化財の解説板の設置	① ② ③ ④	(3) (4)
		8	学びの場活用事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		10	薬師寺周辺駐車場等整備事業	① ② ③ ④	(2)
		11	下野薬師寺いにしへの道整備事業	① ② ③ ④	(2)
	文化財保存活用のための相互連携	13	近隣市町との文化財ネットワークの推進	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)

■：地域計画の実施期間（2021～2025）の間に行う事業、◎：実施期間の間で重点的に行う事業

(3) 時代を超えたヒトとモノの流れ「東西南北を結ぶ一大交流拠点」

下野市域に整備された古道・街道と、それに付随して形成された寺院跡や城跡、宿場町跡、鉄道等に関連する文化財群である。

日光街道沿いの石造物群や下石橋一里塚、街道沿いの文化財を調査し、保護に向けての取組みを進めるほか、旧街道を歩いて関連文化財群に触れるイベントを開催し、市内外の人々に文化財を知ってもらう機会を創出する。旧宿場（小金井宿、石橋宿）や近世街道の重要地点への解説板の設置等、古道・街道の周知を促進する。また、近隣自治体との協働による日光街道・日光道中壬生通り・関宿通多功道に関連する文化財との連携事業も企画・検討を行う。

下野市を代表する農産物である干瓢については、現存する生産道具や民俗資料、古文書等の歴史資料や生産に関わる平地林の調査等を行い、統合された国分寺西小学校を活用し、収蔵品を適切に管理・公開するとともに、広く市民が歴史文化を学び、体験できるように活用を図る。併せて、江戸時代以降の干瓢料理のレシピの集成を進め、ホームページやパンフレット等で公開し、干瓢の生産と消費を向上させるための取組みを進める。

方針	方策	番号	名称	関連文化財群	保存活用区域
①	貴重な文化財の指定・保存	4	日光街道に関連する文化財の保護に向けての詳細調査	③	(3)
		◎ 6	干瓢生産道具保存活用事業	③	-
		7	歴史的景観の保全と創出	③	-
②	継続的な調査 研究の推進	2	石造物の調査	②③④	-
		4	開発に伴う埋蔵文化財の調査	① ② ③ ④	-
	文化財の価値 や魅力の発信 機能の強化	5	文化財シンポジウムの開催	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
		6	市内重要遺跡の調査成果の公表	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
		8	文化財ウォーキングイベントの開催	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
9	江戸時代以降の干瓢料理のレシピ集成と公開	③	-		
③	文化財の多様な活用の推進	◎ 1	関連文化財群ツーリズム事業	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
		4	東の飛鳥ブランドの制定	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
		5	歴史文化遺産と物産展や農政・観光等とのコラボレーション事業	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
	文化財活用 のための 拠点づくり	1	商業施設との連携	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
		7	市内文化財の解説板の設置	① ② ③ ④	(3)(4)
		8	学びの場活用事業	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)
		10	薬師寺周辺駐車場等整備事業	① ② ③ ④	(2)
		11	下野薬師寺いにしへの道整備事業	① ② ③ ④	(2)
	文化財保存活用 のための 相互連携	13	近隣市町との文化財ネットワークの推進	① ② ③ ④	(1)(2)(3)(4)

■：地域計画の実施期間（2021～2025）の間に行う事業、◎：実施期間の間で重点的に行う事業

(4) 古代から受け継がれる祈りの歴史

古代の東国における国家仏教の中心的な寺院であった下野薬師寺や下野国分寺・国分尼寺、また、これらの寺院が衰退した後に周辺の社寺によって受け継がれてきた下野市特有の祭礼や伝統行事、近世以降に橋本神社や下古山星宮神社等で厄除け祈願として奉納されている太々神楽、豊作を願い各地に建立された星宮神社、本市の特産物である干瓢の豊作を願い行われた様々な伝統行事に基づく文化財群である。

近年減少しつつある民俗芸能や講などの伝統行事といった無形民俗文化財は、聞き取りなどの基礎調査や記録映像の制作等を行い、次世代へ保存・継承していくための措置を行う。太々神楽等の民俗芸能の後継者育成に取り組む市民団体に対しては、練習の場所の確保や適切な支援を行うとともに、行政側も将来の担い手となる小・中学生を対象とした体験・習得の機会を設ける取り組みを行う。

方針	方策	番号	名称	関連文化財群	保存活用区域
①	貴重な文化財の指定・保存	8	無形民俗文化財記録映像制作	④	-
		10	民俗芸能・伝統行事継承事業	④	-
②	継続的な調査研究の推進	2	石造物の調査	②③④	-
		4	開発に伴う埋蔵文化財の調査	① ② ③ ④	-
	文化財の価値や魅力の発信機能の強化	5	文化財シンポジウムの開催	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		6	市内重要遺跡の調査成果の公表	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		8	文化財ウォーキングイベントの開催	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		11	伝統文化体験事業	④	-
		1	関連文化財群ツーリズム事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
③	文化財の多様な活用の推進	◎ 2	天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	① ④	(1)
		3	下野薬師寺跡を活用したイベントの実施	① ④	(2)
		4	東の飛鳥ブランドの制定	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		5	歴史文化遺産と物産展や農政・観光等とのコラボレーション事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
		文化財活用のための拠点づくり	1	商業施設との連携	① ② ③ ④
	7		市内文化財の解説板の設置	① ② ③ ④	(3) (4)
	8		学びの場活用事業	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)
	10		薬師寺周辺駐車場等整備事業	① ② ③ ④	(2)
	11		下野薬師寺いにしへの道整備事業	① ② ③ ④	(2)
	文化財保存活用のための相互連携	13	近隣市町との文化財ネットワークの推進	① ② ③ ④	(1) (2) (3) (4)

■：地域計画の実施期間（2021～2025）の間に行う事業、◎：実施期間の間で重点的に行う事業

3. 文化財保存活用区域の保存・活用に関する措置

設定した文化財保存活用区域を保存・活用するために、関連文化財群に関する措置と同様、本市の文化財の保存・活用に関する基本目標を実現するための取り組みを進める。文化財普及啓発グッズ等の作成や関連文化財群に関するシンポジウムの開催、ウォーキングイベント等による文化財巡りとそれに伴う解説板の設置、道の駅をはじめとする商業施設や物産展と連携した企画展等の開催、しもつけ古墳群や中世城館群、街道関連文化財群を活用した近隣市町との文化財ネットワーク推進事業、統合された国分寺西小学校の一部を利用した学びの場活用事業については、全ての文化財保存活用区域を通して取り組む。なお、それぞれの文化財保存活用区域に関連する措置は下記のとおり実施する。

(1) 国分寺保存活用区域

下野国分寺跡・尼寺跡及び、しもつけ風土記の丘資料館や天平の丘公園を中心に保存活用事業を展開し、年間を通して多くの人々が市内外から訪れるよう、取り組みを進める。しもつけ風土記の丘資料館では、老朽化した施設の更新や、資料館の防災・防犯体制を構築するとともに、これまでに実施された下野国分寺跡・尼寺跡をはじめとする周辺に所在する史跡の発掘調査を反映した展示内容へ更新し、重要文化財である栃木県甲塚古墳出土品の形象埴輪の保存修理事業を進め、年間を通して行われている発掘調査の速報展や観光協会等の関係機関と協働で企画展を開催する。

(2) 薬師寺保存活用区域

下野薬師寺跡を中心に、下野薬師寺歴史館、薬師寺（旧安国寺）、薬師寺八幡宮、龍興寺、薬師寺城跡などの周辺の文化財の魅力を発信していく。下野薬師寺跡では、発掘調査、史跡の公有地化、保存整備事業を継続して実施する。ガイドンス施設である下野薬師寺歴史館の展示内容の更新や史跡を活かしたイベントを実施し、史跡のさらなる活用を図る。併せて、下野薬師寺歴史館の防災・防犯体制の整備を進める。

また、区域に所在する文化財の魅力を発信するために、市内一の来訪者数を誇る道の駅しもつけとの協働による周遊ルートの企画や休憩所等の整備を進める。

(3) 石橋・小金井保存活用区域

日光街道と児山城跡、小金井一里塚を中心に、交通の要所としての市の魅力ある歴史文化を発信するため、街道沿いの宿場町跡、石造物や歴史資料等の調査を進める。文化財ホームページへのアーカイブス化や報告書の改訂等を行い、調査成果を広く発信する。特に重要なものについては、詳細な調査を進め、保護を図る。

◇旧国分寺西小学校

学びの場活用事業

◇しもつけ風土記の丘資料館

重要文化財甲塚古墳出土遺物
保存修理事業

資料館職員に対する防災意識の向上

◎しもつけ風土記の丘資料館整備事業

資料館における企画展の開催

◇下野国分寺跡・国分尼寺跡

◇天平の丘公園

史跡下野国分寺跡保存整備事業

下野国分尼寺跡保存整備事業

天平の丘公園再整備事業

◎天平の丘公園・下野国分寺跡を
活用したイベント事業

◇全域

市内重要遺跡の発掘調査

文化財シンポジウムの開催

◎関連文化財群ツーリズム事業

歴史文化遺産と物産展や農政・観光等とのコラボレーション事業

商業施設との連携

近隣市町との文化財ネットワークの推進



歴史的建造物調査

文化財ウォーキングイベントの開催

東の飛鳥ブランドの制定

情報案内・説明板設置事業



(4) 三王山保存活用区域

三王山南塚1・2号墳や三王山古墳群の保護に向けた詳細調査を進める。また、これらの古墳群に隣接する三王山ふれあい公園や道の駅しもつけとのネットワークを構築し、活用を推進する。

